

入院・退院予定の患者さまへ

私たちの地域では、患者さまの入院治療や退院後の自宅療養を、住み慣れた地域で安心・安全に過ごしていただくために、医療機関と薬局との円滑な連携を進めております。下記により多職種協働で情報共有を行う事業を試行的に実施しておりますので、ご協力をお願いします。

本事業へのご協力は皆さまの自由意思によりますので、本事業の対象となることを希望されない場合は、お申し出ください。

入退院時の情報共有事業内容

(厚生労働省・長野県委託「令和2年度認定薬局整備支援事業」)

入退院時における患者情報共有のツールとして「入院時情報共有シート」「退院時情報共有シート」などを活用し、病院薬剤師と薬局薬剤師が入院前や入院中、退院後の薬学的管理上で必要な患者さまの情報を共有できる体制を構築することで、安全かつ有効な薬物療法を切れ目なく提供することを目的に実施します。

「入院時情報共有シート」とは…

入院時に病院薬剤師が必要とする情報（服用薬、調剤方法、他科受診歴など）を薬局から提供するためのシート

「退院時情報共有シート」とは…

退院時に薬局薬剤師が必要とする情報（退院時の薬、調剤方法、副作用歴など）を医療機関から提供するためのシート

※各情報共有シートの内容は、本事業以外に使用することなく、ご協力いただいた方のプライバシーの保護には万全を払います。
※各情報共有シートは、事業報告書の作成及び多職種連携推進のため事業実施者へ情報提供します。
※本事業に関しては、費用は発生しません。



多職種連携により、服薬状況等の情報を共有しながら継続的な服薬管理を支援します！

ご理解とご協力をお願いします。